

大軍拡と改憲ノー！ 暮らしと人権、民主主義を守れ！ 岸田自公政権への審判を武蔵野から

2023年4月
武蔵野市議選

日本共産党市議団を3人に

「市民が主役」の市政を前へ

日本共産党武蔵野三鷹地区委員会が、2023年4月に行われる武蔵野市議会議員選挙（定数26）の予定候補3名を発表しました。

日本共産党武蔵野市議団は、松下玲子市長とともに力を合わせ、18歳までの医療費完全無償化、保育園の待機児童ゼロを実現してきました。新型コロナ対策の充実、物価高騰から市民の暮らしと営業を守る対策などを提案し、実現してきました。武蔵野市議会には4つの常任委員会がありますが、現在2つ党市議団は委員会に委員を出せず、発言の機会が制約されています。3人の市議団となり審議の発言の機会を増やすことは、「市民が主役」の市政を支え、福祉と暮らしを守る自治体としての本来の役割をさらに前に進める大きな力になります。日本共産党の躍進は、岸田自公政権が進める大軍拡と改憲にノーという平和の審判を武蔵野から下すこととなります。ぜひとも3人の日本共産党市議団実現へお力をお貸しください。

 <p>三島 杉子 (新)</p>	 <p>橋本 しげき (現)</p>	 <p>本間 まさよ (現)</p>
<p>党武蔵野子ども教育相談室長 吉祥寺東町在住</p> <p>【みしま すぎこ】1961年東京都生まれ。本宿小学校、第三中学校、都立三鷹高校、都留文科大学文学部卒業。元都立公立中学校教員(約38年)。市内で子育てし、現在家族は夫と猫2匹。娘2人は独立。吉祥寺東コミュニティセンター運営委員、新日本婦人の会武蔵野支部委員、現在、党武蔵野子ども・教育相談室長。</p>	<p>武蔵野市議会議員(4期) 西久保在住</p> <p>【はしもと 繁樹】1972年北海道夕張郡栗山町生まれ。東京大学法学部卒業。在学中、東大教養学部学生自治会委員長を務める。2007年武蔵野市議会議員選挙で初当選。現在、市議会総務副委員長、党市議団会派代表、議会運営委員(会長代行)、国民健康保険運営協議会委員、党地区常任委員。党武蔵野市副委員長。</p>	<p>武蔵野市議会議員(8期) 境南町在住</p> <p>【ほんま 雅代】1956年武蔵野市吉祥寺本町生まれ。淑徳短大社会福祉学部卒業。むさしの共立診療所で医療ソーシャルワーカーとして10年勤務。1987年武蔵野市議会議員選挙で初当選。元市議会議員、現在、文教委員、外環道路特別委員長、議会広報委員、党武蔵野市委員長。</p>
<p>【主な活動地域】 吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町1・2丁目、3丁目(1~4番、10~13番)</p>	<p>【主な活動地域】 西久保、中町、緑町、八幡町、吉祥寺北町3丁目(5~9番、14~17番)、4・5丁目</p>	<p>【主な活動地域】 境南町、境、桜堤、関前</p>

武蔵野民報

日本共産党武蔵野三鷹地区委員会の見解をお知らせします。
2022年9月号外 発行人 岡崎万寿秀

お問合せ先 日本共産党武蔵野三鷹地区委員会 TEL 53-1611 FAX 53-3317